

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	アーカスプロジェクト参画事業		担当課 企画課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間 平成 7年度～
	施策	生涯学習の推進	種別 任意的事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働 実行委員会
予算科目コード	01-020107-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>地域活性化を目的に県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致。平成6年度に試行、翌7年度から「アーカス構想パイロット事業」として本格的に展開が開始される。平成12年度から「アーカスプロジェクト」として現在に至る。</p>	<p>1 県，市，関係機関からなる実行委員会（県事務局）へ負担金を支出し，下記事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代アーティストの招へい及び制作支援，活動発表会の開催（レジデンスプログラム） ・一般向け，子ども向けアートイベントの開催（地域プログラム） ・小学校へのアーティスト派遣事業の実施（地域プログラム） <p>2 アーカスプロジェクトの運営に際して，市は主に以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家制作の場としてもりや学びの里を提供 ・市内イベント活動等の運営支援 ・事業広報活動
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>1 茨城県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより，市民に対し芸術文化活動の体験機会を提供するとともに，地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。</p> <p>2 アーティストとの交流機会を提供することで，子どもたちの豊かな心と感性を育てる。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し，市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
文化庁助成金が平成27年度に終了したため、今後、プロジェクト運営資金の確保が課題となる。	クラウド・ファンディングを活用し、アーカスタジオ内に資料閲覧棚を作るプロジェクトを実施した。今後の資金調達方法は、引き続き検討を重ねていく。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
事業に参加した市民の数（人）	1,799.00	1,978.00	1,819.00	1,900.00	2,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	事業への総参加人数は大幅に増加（H27：3,212人→H28：3,724人）したが、平成27年度は市民の参加が多かった「だいちの星座プロジェクト」の関連イベント等があったこともあり、参加者を市民に限定した成果としては停滞している。今後、市民が受け入れやすいイベント等を実施し、成果を向上させていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度から生涯学習部門に所管課が移るため、今後は、市の芸術事業と連携した取組を検討していく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	5,000	5,000	6,019	4,500	4,500
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,000	5,000	6,019	4,500	4,500
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	268.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,099	0	0
トータルコスト		5,000	5,000	7,118	4,500	4,500

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名	芸術祭事業		担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	任意的事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進		市民協働	共催
予算科目コード	01-100401-18 単独	根拠法令・条例等			

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>昭和52年当時、守谷には文化的イベントが無く、それを不満に感じていた町民有志7名が発起人となって文化協会を設立し、自らの手で芸術祭を開催した。</p>	<p>文化協会との共催により、以下の事業を行う。</p> <p>①美術展 会場：中央公民館 ②菊花展 会場：市役所中庭 ③若い芽のコンサート 会場：中央公民館 ④生花展 会場：中央公民館 ⑤生け花体験教室 会場：中央公民館（生花展と同時開催） ⑥芸能祭 会場：中央公民館 ⑦お茶会 会場：中央公民館（H28・29年度は休止）</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化芸術活動意欲や市民交流を促進し、喜びや生きがいを感じてもらう。 ・文化芸術活動を通して、市の魅力を発信する。 	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
来場者数は減っているものの、守谷市における文化芸術イベントでは最大の集客があり、市のPRに役立っている。コストに配慮しながら、維持継続していく。	菊花展審査謝金を削減した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
出品・出演者数（人）	648.00	592.00	564.00	600.00	600.00
来場者数（人）	9,649.00	10,765.00	8,514.00	9,000.00	10,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	文化芸術サークルの高齢化や文化協会会員数の減少に伴い、出品・出演者数が減少している。そのことが、集客力にも影響しているものと推測される。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成30年度にはお茶会が復活する予定であり、それに伴う来場者数の増も見込まれる。市の文化をPRする貴重な場であるので、維持継続することが望ましい。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	109	78	73	70	70
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	109	78	73	70	70
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	131.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	537	0	0
トータルコスト		109	78	610	70	70

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	守谷市美術作家展事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和60年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-100401-19 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
町内のプロ作家、茨城県美術展覧会入選者の作品を、町内で見られるようにするため、昭和60年度に開始された。	市内在住・在勤，市出身など，守谷にゆかりのある美術作家の作品展を開催する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
（市民に対して） ・市にゆかりの作家を知ってもらうことで，郷土に対する愛着を深める。 ・美術鑑賞の機会を設け，芸術活動への関心を高める。 （作家に対して） ・他の作家や市民との交流を促進し，創作活動の意欲や郷土意識を高める。	
（参考）基本事業の目指す姿 芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し，市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
市民ギャラリーで開催するようになって、27年度に初めて来場者が1,000人を超えた。これは、会場で書道パフォーマンスを実施した効果と考えられる。 これからも展示だけでなく、作家と市民をつなぐ取組を実施する。	平成27年度に引き続き、書道パフォーマンスを実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
出品者数（人）	56.00	53.00	60.00	63.00	63.00
来場者数（人）	997.00	1,198.00	915.00	1,000.00	1,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	同じ催し（書道パフォーマンス）を2年続けたことが、停滞を招いた原因であると考えられる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	来場者と作家と一緒に作業するようなワークショップが開催できれば、来場者の増加が見込める。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	564	163	160	185	185
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	564	163	160	185	185
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	188.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	771	0	0
トータルコスト		564	163	931	185	185

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	もりや夢の舞と響事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	平成15年度～平成28年度
	施策	生涯学習の推進	種別	任意的事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-100401-20 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
文化協会音楽部会及び芸能部会に所属する指導者の公演を鑑賞する機会を設けるため、開催された。	6月の第1日曜日に、音楽部会（洋楽）と芸能部会（尺八、箏、民謡、日舞）の指導者による公演を開催する。（27年度は芸能部会の指導者のみ出演した。）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
優れた音楽や伝統芸能を鑑賞する機会を提供し、市民生活の満足感を向上させ、定住意欲を促進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
出演者が文化協会会員に限られてしまうので、公平性に欠ける。また、出演者が固定化し、観客数が伸び悩んでいる。	平成29年度には文化協会の単独事業とすることを協議する。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
出演者数（人）	18.00	20.00	11.00	0.00	0.00
来場者数（人）	367.00	348.00	230.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	文化協会の内部事情により、伝統芸能のみの公演となったため、観客が大幅に減った。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・終了	もともと文化協会の事業として始められたものであり、市はポスター（チラシ）、プログラムの作製などを担当してきた。プログラム等の作製は文化協会単独でも可能であるので、28年度をもって廃止とする。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	80	80	78	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	80	80	78	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	30.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	123	0	0
トータルコスト		80	80	201	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	文化協会補助事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意的事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-100401-21 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>文化協会結成以前には町主催の文化事業がなく、市民の自主的な生涯学習や個性豊かな文化芸術活動を推進するには、担い手となる文化団体を支援・育成する必要があった。</p>	<p>補助金を交付して、ふれあい美術展、芸能大会、芸術祭（市と共催）、伝統文化・伝統芸能子ども教室、茶道教室、陶器市、スプリングコンサート等の文化協会の活動を支援する。</p>
<p>目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）</p> <p>芸術文化の振興を目的に活動する守谷市文化協会の自主的な事業を支援し、市民の交流と芸術文化活動の向上を図ることで、市の活性化を目指す。</p> <p>文化協会会員の経済的負担を軽減し、文化事業（美術展、音楽会、各種講座など）を継続して実施してもらう。</p>	
<p>（参考）基本事業の目指す姿</p> <p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>改善内容（課題解決に向けた解決策）</p>	
<p>次年度のコストの方向性（→その理由）</p> <p><input type="checkbox"/>増加</p> <p><input type="checkbox"/>維持</p> <p><input type="checkbox"/>削減</p>	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
会員数がほぼ横ばいの状態である。特に20～30代の会員が少ない。シルバー世代向けの事業ばかりでなく、若い人たちにアピールする事業の展開が望まれる。	人気のない事業は打ち切り、市民のニーズに沿った事業を実施しよう、協議する。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
文化協会会員数（人）	580.00	563.00	568.00	532.00	530.00
実施事業数（共催事業を除く）（人）	12.00	11.00	11.00	12.00	12.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成28年度の実施事業は、従来どおりであったためと思われる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成28年度の実施事業は従来どおりであったが、平成29年度の事業計画には若干の改善が見られる。また、シルバー世代の活動の場にはなっている。補助金額の決定は、申請書の内容に基づいて審議会で決定されるので、こちらで一方的に拡大や縮小は決定できない。しかし、会費の見直しや事業の有料化、助勢団体の補助金利用など、財源の確保に努めるよう指導していく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	920	920	920	920	920
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	920	920	920	920	920
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	33.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	135	0	0
トータルコスト		920	920	1,055	920	920